

下水道の雨水貯留施設と雨水ポンプ施設の整備効果

【施設整備状況】（令和6年度末時点）

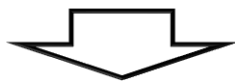
- 東京都の区部には**62か所**の**雨水貯留施設**と**69か所**の**雨水ポンプ施設**が稼働

【令和元年東日本台風時における施設の稼働状況】

- 当時の雨水貯留施設の合計容量は**約60万m³**
- 全体の**貯留率**は**約6割**
（8か所の貯留施設がほぼ満杯）

【主な満杯の貯留施設】

- ・ 和田弥生幹線：容量 **15万m³**（杉並区・中野区）
- ・ 谷端川一号幹線：容量 **3万2千m³**（豊島区）
- ・ 第二十二社幹線：容量 **1万3千7百m³**（渋谷区）
- 雨水ポンプの合計排水能力は
毎分約11万m³（25mプール360杯分）
- 雨水ポンプの稼働率は**約5割**



浸水被害の軽減に大きく貢献

